

2013.06.11

「流石、麻生元総理！財政出動でデフレ脱却」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は6月11日火曜日です。先ほど午前中の財政金融委員会で金融商品取引法の改正案が成立し、ようやく私の財政金融委員会で抱えていた法案は全て処理出来ました。あとは国会で26日の会期末に向けて、選挙法改正などの積み残しの法案もありますが、選挙に向けてまっしぐらという状況になりました。さてその中で、アベノミクスに湧いていた株価も調整局面に入り、乱高下が激しい為に、マスコミも「アベノミクスは大丈夫なのか」や「アベノミクスは安倍バブルだ」と言って盛んに批判をしております。これは何度も言っておりますが、日本の実体経済が回復していくため、心配はしていません。しかし、実体経済を良くするのは一体何なのかというと、アベノミクスでいう「財政出動」であります。これは公共事業に限らず、民間経済はデフレでありますから投資に対して億劫になっています。それに対して政府がきちんとした政策を打っていけば景気は回復します。ただ財源面に関しては、日銀と強調しながら行なっていけば良いのです。やはり景気を回復させるには、アベノミクスで言う第2の矢を確実にしっかり打ち込んでいくことです。今回の予算は、5月15日に通りました。しかし、実行に移していくには時間がかかります。それぞれの地方議会で可決させ、補正予算を組み、それを発注して仕事に出すには1ヶ月、2ヶ月はかかります。よって、

もうしばらく待つて頂かなければなりません、これから経済は回復していきます。そして、これを何年か続けていかなければなりません。問題は、続けていく矢先に、増税問題や財政再建といったものがあることです。しかし、まずはデフレ脱却し、経済が大きくなり、税収も当然増えていきます。そして、デフレ脱却をすると、日本にはたくさんの預貯金があり、そのお金を民間が使っていく、我々が財政出動に頼ることなく、たくさんのお金が国内に循環していく仕組みに種火をつけることが大切です。この種火をつけるためには、経済の大きな流れを分かなければなりません。また、国民にこういった仕組みについて説明することが非常に大切なことです。実は今日、私は京都大学の藤井先生と麻生太郎財務大臣の所に参りまして、「ぜひ、この2本目の矢をしっかり撃ち放ち、次々と仕事を発注していくことを財務大臣がコントロールしてやっていくべきだ。」というような要望や陳情をお話しました。私が意を強くしたのは、麻生太郎財務大臣は私達が申し上げたことをご理解頂きました。私はこのアベノミクスをアソノミクスであると申し上げましたが、麻生財務大臣の話を聞きますと、「なぜもう少し早く財務大臣ができなかったのか」と私は思いました。大臣は、委員会の中での答弁で「今から20年ほど前に日本は財政危機である」と言われておりました。その当時は、自民党は武村正義財務大臣や河野総裁がおられ、社会党の村山富市総理大臣を支えていく自社連立政権でありました。その時に国債の発行額が約460兆円になり、当時のGDPは約500

兆円でしたので、年に **GDP** と同じぐらいの借金を抱えていくことは大変である。」ということを言われました。

しかし、現在麻生財務大臣がおっしゃるには、「その時から自分は、『なぜ財政危機になるのか』と言い続けてきました。財政危機なんだから財政危機なんだ、借金が **GDP** ぐらいあることは駄目なんだ、ということをするばかりで十分な説明をしない。」と。

そこで麻生財務大臣は、「『日本は国債を日本の円で発行しており、日本銀行が引き受けてしまえば、全て返済できてしまう。そもそも破綻なんていうことは有り得ないんだ。』と説明すると、先方は『そのようなことをやってしまうと、円の価値が下がり、インフレになってしまう。』と言われました。しかし、『今はデフレなんだから、どうもならないでしょ。』というとな誰も反論できませんでした。」麻生財務大臣はこのようにおっしゃっておいりました。

結局、20 年前から「財政危機である」という話が言われ続け、デフレになっていきました。それから 20 年が経ち、現在では国債が倍になり、その半分の当時でさえも「財政破綻だ。」と言われていました。

「本当でしたら、利息が高くなり、円の価値が安くなっていきますが、実際には長い間円高が続き、金利は実質ゼロ金利であり、今まで言われてきた財政破綻論が全く通用しないということに気が付かなければならない」と、麻生財務大臣は仰っていました。流石に麻生財務大臣は実体経済の動きをしっかりと分

かっており、マクロ経済を認識しております。だからこそ、今までは財政破綻で駄目だと言われていた公共事業ですが、「自信を持って財政出動していけばいい」というデフレ脱却に対する安倍内閣で一番大きな司令塔であります。麻生財務大臣がおられる限り、安倍内閣は大丈夫です。心配なのは、安倍内閣の中でも麻生財務大臣の意見がよく分かっていない形で政策提言されている方々がいますが、この方々は麻生財務大臣が整理して頂ければ、間違いなく安倍内閣はしっかりデフレ脱却できると確信致しました。具体的な中身、どういう提言をしてきたかということをお話致しませんが、必ず麻生財務大臣の基で色々な政策を実行して頂けると確信しております。まだ予算が執行されていけませんので、实体经济の待遇が実感できないという方もいらっしゃるかと思いますが、これから間違いなく、实体经济が良くなって参りますので、もうしばらくお待ち頂きたいということを申し上げまして、私の本日のビデオレターを終わらせて頂きます。今日もご覧頂きましてありがとうございました。